

生活と事業の継続に向けた

新しい地震対策を考えるセミナーのご案内

〈SRFによる新たな構造と設計〉

今世紀に入り、想定を大幅に上回る豪雨、台風、大地震動が続々と観測されています。河川の氾濫、建物損壊により甚大な被害が生じており、総合治水、耐震、免震・制震等、20世紀の方法と技術では間に合わなくなっています。新耐震基準は、大地震に対しては、使えなくなってもよい、倒壊しなければよいという基準です。大都市では、使えない建物が林立し、数週間、あるいは数か月にわたり、都市機能が麻痺する危険性があります。最近の研究によれば、群衆雪崩、未治療死、通電火災、火災旋風、地震洪水などの間接被害が続々と発生し、多数の人命が失われるとのことです。熊本地震では、耐震化率100%の熊本市周辺において、建物施設が使用できなくなったことによる災害関連死が直接死の4倍を超える事態となりました。

これまでのセッションでは、耐震等の課題に対して、5つの解決策を提案し、SRFの損傷制御効果と、これを定量化し計測する方法、合理的に倒壊防止する軸耐力補強、及び基準値をクリアする補強法をご紹介しました。今回は、現代の技術を用いて将来のニーズに応える新たな構造と設計〈収震〉、そして、体育館の補強前後の微動計測をご報告します。

日時

2020年11月11日(水)
セミナー：13:30～14:30
個別相談：14:40～

テーマ

〈セッション5〉

- ・SRFによる新たな構造と設計
- ・体育館のSRF補強前後の微動解析

※これまでのセッションはYouTubeで視聴可能です。

セッション1 <https://youtu.be/daeV7oVqNkA> セッション2 <https://youtu.be/dqWz6C6Gqxs>
セッション3 <https://youtu.be/PVVwwRd7YM4> セッション4 <https://youtu.be/ALVbroahclA>

開催方法

オンライン(ZOOM)

※受講方法については参加URLを含め、申込受付メールにてご案内いたします。

申込方法

以下の事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。

件名「11/11 オンラインセミナー」

- ・ご所属・お名前・ご住所(任意)・ご連絡先
- ・個別相談ご希望の有無
- ・お申込のきっかけ(DM・紹介・HPなど)
- ・使用機器(PC・スマートフォンなど)

※スマートフォンからご参加の方には参加時に必要となるIDとPWを別途お知らせいたします。

ご案内

SRF設計研修会(7/1開催分)は会員限定ページでご視聴いただけます。設計会員は無料です。ぜひご入会ください。<https://www.sqa.co.jp/srf/admission.html>



五十嵐 俊一

講師
構造品質保証研究所株式会社
代表取締役社長
工学博士
日本建築学会会員
地盤工学会正会員
コンクリート工学協会正会員

お申込先 E-mail: seminar@sqa.co.jp

■お問合せ先
構造品質保証研究所 セミナー事務局
TEL 04-7189-7621